

総合患者支援センターニュース

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学病院
総合患者支援センター
☎086-223-7151 (代表)
☎086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital



センターの活動に関してはホームページ
(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/>)
をご覧ください。

新任のご挨拶

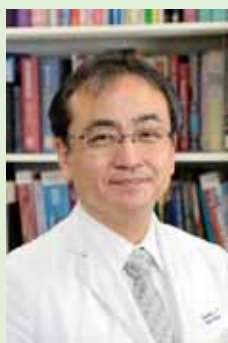
総合患者支援センター長
岡山大学病院副院長
大塚 文男



令和2年4月より総合患者支援センター長を拝命いたしました総合内科・総合診療科の大塚文男です。当センターは、患者支援部門・地域医療連携部門・入院支援室による体制から成り、医師・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカー・事務を含む多職種で構成された組織です。地域の医療施設からのご紹介から転院まで、前方・後方支援において重要な玄関としての機能とともに、介護・福祉・在宅に関する医療相談など、患者さんの実質的・多面的なサポートを行なっています。現状の最重要課題は、患者の皆さんのみならず、全ての医療者とともに病院一丸となって、如何にして新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、安心・安全にこれまでの医療を提供できるかです。当センターは、地域と向きあい・つながり・広がる、という本院のモットーの3つ全ての鍵を握る部署として、地域の様々な医療機関・クリニックの先生方と本院とのスムーズで優しい繋がりを目指したいと思っています。

どうぞ温かいご支援を宜しくお願いいたします。

総合患者支援センター総轄副センター長
岡山大学病院副院長
増山 寿



令和2年4月より総合患者支援センターの総轄副センター長を拝命しました産科・婦人科の増山 寿です。日頃は、センターの業務にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。本院は年間約1万例の手術を行っております。手術部長も併任しており外科医の立場から周術期管理センターと協力して、患者さんが安心して治療を受けられるように地域との連携をさらに深化させていきたいと考えております。お気づきの点は何なりとお知らせいただければ幸いです。どうかよろしく申し上げます。



～地域医療連携部門からのお知らせ～

◆岡山大学病院連携医療機関への取組みについて

当院では、地域へ根ざした病院として地域の医療機関との前方・後方連携をさらに深め、より円滑な医療の連携を行うために平成24年度から連携医療機関認定制度の運用を行っており、現在192の医療機関と連携を行っております。

この取組みは、当院地域医療連携の趣旨にご賛同をいただいた病院や診療所に「連携医療機関認定証」を発行することにより、必要時に当院へ紹介・受診も可能である旨を患者さんに認識していただき、より良い医療連携の構築を目指すものです。

「連携医療機関認定証」を発行させていただいた医療機関については、患者さんに情報提供する目的で外来棟1階の自動支払機の上へ掲示しておりますので、ご参照いただくと幸いです。

なお、当院ホームページへも掲載しておりますのでご参照ください。

(<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/index62.html>)



～入院支援室の取組みについて～

2019年8月、入院支援室は患者支援部門とともに移転しました。面談室が半個室化され、患者のプライバシーに配慮した面談が実施出来るようになりました。

入院支援室では、5診療科の入院前支援を行っていますが、「入院時支援加算」算定を見据え業務拡大を目指しています。その一環として、周術期管理センター（PERIO）と協働し、新たに脳神経外科術前の患者さんに対する入院前支援を始めました。今後はそれぞれの専門性を生かし診療科へ拡大につなげていきたいです。また、入院前支援を必要とする患者さんにより手厚い介入を行えるような看護面談の仕組みを目指し、入院を繰り返している患者面談の簡略化に取り組んでいます。繰り返し入院の患者にとっては時間短縮というメリットがありますが、簡略化されることで、見過ごしてはいけない薬剤の休薬や再開その他の薬剤に関する対応が手薄にならないよう気を付けています。入院支援室で得た患者情報は入院予定病棟だけでなく、多職種への情報共有も積極的に行っており、より早期に必要な支援に繋ぐことを意識しています。入院前からソーシャルワーカー・臨床栄養部・緩和医療とも連携しております。



～総合患者支援センターでのご相談～

患者様のご相談窓口となっています。こんな時ご相談ください。

医療・看護・福祉相談

自宅での療養の仕方や介護保険について知りたい
退院後の生活が心配
医療費や生活費のことが心配
福祉制度について知りたい など

がん相談支援センター

がんに関する情報提供
がんの病気や治療、今後の療養生活について
緩和ケア科、緩和ケア病棟への橋渡し など



認知症疾患医療センター相談窓口

認知症の診断・治療を受けるにはどうしたら良いか
在宅生活での介護の相談 など

てんかんセンター相談窓口

てんかんセンターの受診方法
小児科から成人科への移行
自立支援医療等の社会保障制度、就労 など



就労・両立支援相談

「ハローワーク岡山」就労ナビゲーターによる出張相談
相談日：毎週木曜日 10～13時
病状や治療状況などを考慮して就労の支援をします。
「岡山県社会保険労務士会」出張相談
相談日：毎週第2・第4火曜日 10～16時
治療と仕事が両立できるような会社の制度、公的な制度についてご相談できます。

治験・臨床研究相談窓口

「治験」「臨床研究」とはどのようなものか など

母乳育児相談窓口

授乳の方法、母乳育児に関する相談ができます。当センターに電話予約の上お越しください。

また、医療安全・医療事故に関するご相談、職員の対応・設備に関するご意見・苦情もお受けしています。
患者さんならびにご家族の皆様、どうぞお気軽にご利用ください。

長期療養しながら、働きたい方の相談窓口

がん、肝疾患、糖尿病等で治療をしながら働くことを考えたい時、下記の相談窓口があります。(当院への通院の有無に限らず利用できます)

- ・自分の病状、体力にあった仕事を見つけたい
- ・治療と仕事の両立の仕方について教えてほしい
- ・就職活動で、企業に病気のことを伝えるべきか迷っている
- ・復職前にアドバイスをうけたい
- ・休職中に受けられる給付金などのアドバイス
- ・障害年金について知りたい

窓口	ハローワーク岡山 出張相談	社会保険労務士 出張相談	総合患者支援センター
時間	毎週木曜日 10:00~13:00	毎月第2・4火曜日 13:00~16:00	平日 8:30~17:00
場所	岡山大学病院 総合患者支援センター内		
予約	原則要	原則要	不要

桃太郎がんメディカルカフェのご案内

桃太郎がんメディカルカフェとは、がん患者さんやご家族だけでなく、医療従事者も含む市民が参加者として集い、それぞれ対等な立場で心の豊かさや人生観、生き方について自由に語り、交流する場です。どなたでもご自由にご参加頂けます。関心のある方、初めての方もご遠慮なく下記までお問い合わせください。

日時 2020年9月1日(火)、12月3日(木)、2021年3月3日(水) 13:30~15:30

場所 岡山大学病院 マスカットキューブ3階

参加費 お茶代として100円

申込み先 086-235-7744(当日参加も可能ですが準備の都合により事前申込みをお願いします)

*特別警報(大雨・暴風)が当日午前中に発表されている場合は中止とします。

がん体験者によるピアサポート事業のお知らせ

がんの診断直後の不安や戸惑い、日常生活における悩みごとをピアサポーターにお話してみませんか。ピアサポーターの「ピア」とは仲間、「サポーター」とは支える人という意味です。がん体験者が、患者さんやご家族のお気持ちに寄り添い、自らの体験や知識を通して、不安や悩みの軽減、解消のお手伝いをします。どちらの病院に通院していても構いません。お気軽にお立ち寄り下さい。

ご利用いただける方:がん患者ご本人またはご家族

活動日:第2水曜、第3火曜 10:00~12:00 13:00~15:00

場所:岡山大学病院 総合患者支援センター内

*ピアサポーターは医療者ではないため、具体的な治療方法の相談、医療機関の紹介や医療苦情などのご相談はできません。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、状況によっては開催が休止となる場合がありますので、詳細については事前にお問い合わせください。